

< 線の機能追加 >

「逆順」, 「一括変換」, 「倍率」

「>」ボタンを押して軌跡を構成しているすべての頂点の座標を確認する。X 座標値に注目し、上から昇順に表示されていない場合には、「<」ボタンで戻り、「逆順」ボタンを押して順番を並び替える。この操作によって、X 座標が最も小さな点の「頂点番号」が 1 となるようにする。

そして、すべての頂点の X 座標値から「頂点番号 1」の X 座標値を減ずることで、この「頂点番号 1」を図面上の基準点とした相対的な値に変換する。

「一括変換」ボタンを押して「平行移動」にチェックをいれる。基準点の X 座標値にマイナスの符号を付けた値を「X」の覧に入れて「OK」ボタンを押す。

ここで「>」ボタンで表示される「メモ帳」表示を開くと、すべての点の X 座標値に平行移動が反映されていることが確認できる。

次に、縦断面の図面上で高さを表す Y 座標にかんしては、倍率（この場合は 10 倍）がかかれているため、倍率で除して正しい高さに修正する必要がある。

今度は、「一括変換」ボタンを押し、「倍率」を選択する。この場合、「Y」の覧に 0.1 を入れ、「OK」ボタンを押すことで、すべての頂点の Y 座標値を一括変換できる。

更に、現在 XY 平面上にある頂点を YZ 平面に変換することで、縦断面における高さ値を三次元空間における高さとすることができる。

「X>Y>Z」ボタンを押すと、すべての頂点の X、Y、Z 座標値をローテーションさせることができる。「>」ボタンで表示される「メモ帳」の 1 列目（頂点の X 座標値）にすべてゼロの列がくるように「X>Y>Z」ボタンを押す作業を何度か繰り返す。

「軌跡保存」のボタンを押して、適当なファイル名で保存する。4 枚の縦断面図に関して同様の作業を行うことで後に道路の形状生成の際に、軌跡データとして利用することができる。